

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
 ☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>
 第625号 2022年3月13日

鈴木真主任司祭 主日ミサ説教

2022年1月2日 主の公現

マタイ福音書 2章1-12節

「主の公現」…救い主の誕生が世に公に現わされた、という意味です。

『聖書と典礼』の注書きにもありますが、「占星術の学者たち」と訳された元の言葉「マギ」は、ペルシャのゾロアスター教の祭司階級をあらわすもので、「占星術」と言っても今のいわゆる星占いとは違って、天文学に近いかなり高度な学問だったようです。ペルシャからパレスチナは距離的にもかなり離れているわけですが、そんな人たちによって救い主誕生が世に示されます。聖書には「三人」とは書いてないわけですが、いわゆる「三人の博士」のうちに、一人は白人、一人は黒人、残る一人が黄色人種だったということになったのも、すべての民族に救い主の存在があらわされた、という位置付けからでしょう。

しかし、それを知らされた時の権力者、ヘロデ王は、自分の地位が脅かされることを危惧し、なんと救い主抹殺を図ります。福音が示される時、必ずそれに反する要素があらわにされる、ということでしょうか。例えば、イエスが悪霊を追い出すシーンが福音書に時々出てきますが、必ず悪霊の方から「お前が誰だか知っている！我々を滅ぼしに来たのか！」などと反応します。

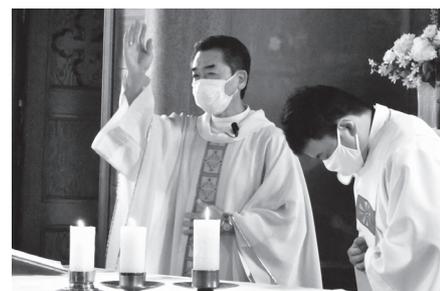
言わば、救い主であるお方は、人間社会の「罪」

という現実のまっただなかにお生まれになった、ということでしょう。それは、見方を変えるならば、常に神から離れがちに生きている人間たちに、あくまで神さまが寄り添ってくださっているし、とも言えます。わたしたちとは関係のない、どこか遠くでお生まれになったのではなく、まさに罪深いわたしたちのすぐ近くに、いや、そのまっただなか生まれにくださったわけですから。

「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」(ヨハネ3:16)

イエス誕生の物語を具体的に描くのは、実は聖書の中でもマタイ福音書とルカ福音書だけです。それぞれどちらも大変な状況の中でイエスがお生まれになったことを描きますが、それは神がどれほど「世」を、ご自分が造られたすべてのものを愛しておられるか、を示すことに他なりません。

降誕節の締め括りである「主の公現」を祝うにあたり、改めてわたしたちは、救い主であるお方が世に来てくださった恵みの大きさに、共に目を向けたいと思います。



(撮影：編集部 土方芳人)

信徒大会の資料の配布

今年こそは信徒大会が開催できると思っておりましたが、オミクロン株が猛威を振るっていることから2月の教会委員会の審議の結果、今年も信徒大会の開催を断念することになりました。昨年同様、資料の配布のみになりますが、お持ち帰りいただき、ご一読ください。

新型コロナウイルスの蔓延により、昨年の活動報告も今年の活動計画も通常と比べれば寂しいものですが、特筆すべきは山手教会出身の水上助祭の司祭叙階式が3月21日に行われることではないかと思えます。コロナ禍でなければ盛大にお祝いをしたところですが、残念ながら司祭と一部の信徒のみしか参加できませんので、祈りによって新司祭の誕生をお支えいただければと思います。

今年の信徒大会の資料の特別なページとして、今年行われる聖堂の修繕工事についてと、昨年完成した合葬墓について書かれているページがあります。過去にお伝えしていることもあるとは思いますが、どの印刷物に書かれていたか見つけ出すのは大変だと思いますので、信徒大会の資料に掲載されていたと覚えていただければと思います。特に合葬墓については、遅かれ早かれ誰もが関わる可能性があることですので、特に信徒の家族が誰もいない方は、この資料を家族への説明にご利用いただければと思います。

信徒の増減を表しているページがありますが、コロナ禍にあっても教会に加えられる方々が大勢おられます。今は集まる機会が限られていますが、すでに長く教会にいる方も、新しく加えられた方も、奉仕活動など、何かきっかけを作って主にある共同体の仲間であることを感じられればと思わされます。毎年のように受洗者がいない小さな教会では、各奉仕グループによる新受洗者の争奪戦が起きることもあるようですが、ここ山手では10年くらい経ってから「初めまして」なんてこともよくあることではないかと思えます。一人ひとりができることは限られているとは思いますが、まずお互いのために何かできることはないかと考えることから始めていただければと思います。

(教会委員会 委員長 小倉 謙)

前年度会計報告と本年度予算について

日頃から教会活動へのご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。今年も信徒大会が中止となったため、本紙上で昨年度会計と本年度予算についてご説明いたします。

(1) 「2021年度会計報告」

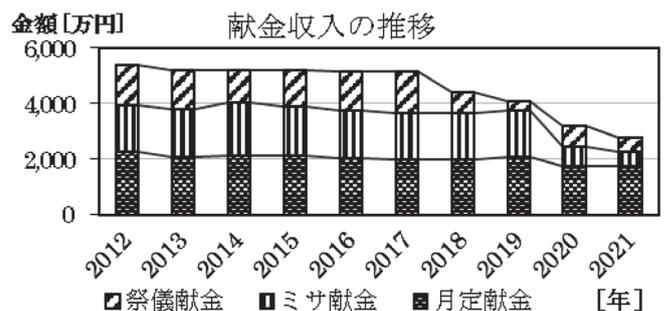
2020年に聖堂天井の修繕第1期工事が完了しましたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、ミサへの参加人数制限など、各種施策により信徒の皆様がミサに参加される機会が制約され、前年に続き「ミサ献金」「祭儀献金」は例年より大幅減となりました。一方で、「月定献金」の納入は順調で「献金収入」全体では、ほぼ見込みどおりの結果となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

支出では、合葬墓の建設工事費が主で、聖堂修繕関係は準備段階のため殆ど出費がありませんでした。

(2) 「2022年度予算」

コロナの感染状況によりますが、徐々に制約が解消される方向に向かうと期待し、次年度予算を策定しました。今年は、いよいよ第2期聖堂修繕の具体的工事が本格的に始まるので支出も増加します。

(3) 山手教会の収入状況



献金収入が年々減少し、コロナ禍で教会の経済状況は更に厳しくなる中、今年から来年初めにかけて聖堂修繕工事が本格化します。長引く新型コロナのために多くの方が経済的に苦しい思いをされています。月定献金の継続的納入と聖堂修繕のための献金に、できるだけご協力いただきたく、よろしく願い申し上げます。

(財務委員会 委員長 佐藤康夫)

カトリック山手教会 決算・予算報告

(2021年度決算)

単位：万円

支 出	予算	実績
宗教活動費 計	650	383
行事費	70	14
布教教化費	150	74
祭儀費	150	147
一般寄付	200	133
その他	80	15
墓地納骨堂管理費 計	120	114
維持管理費 計	1,770	583
修繕費	1,150	104
火災保険料	70	63
その他維持管理費	550	416
事務運営費 計	820	622
人件費 計(司祭給与を除く)	1,036	1,001
指定献金 計	549	542
(内、一粒会献金)	※440	440
教区内繰入(分担金他) 計	1,205	1,244
事業支出他 計	100	48
器具備品取得支出	100	50
祭儀備品取得支出	100	0
(小計)	(6,449)	(4,587)
2021年度収支差額	-1,655	941
修繕工事関係	3,000	0
墓地建設関係	3,100	2,386
(小計)	(6,300)	(3,327)
合 計	10,894	7,914

単位：万円

収 入	予算	実績
献金収入 計	3,075	2,850
月定献金	1,800	1,770
ミサ献金	1,000	494
祭儀献金	150	511
その他	125	75
墓地納骨堂管理収入 計	800	1,010
一般寄付金収入 計	200	1,035
指定献金 計	549	537
(内、一粒会献金)	※440	440
補助金 計	45	30
事業収入他 計	100	51
その他	25	16
(小計)	(4,794)	(5,528)
積立金から充当	3,000	0
積立金から充当	3,100	2,386
(小計)	(6,100)	(2,386)
合 計	10,894	7,914

(2022年度予算)

単位：万円

支 出	予算
宗教活動費 計	565
行事費	50
布教教化費	120
祭儀費	150
一般寄付	170
その他	75
墓地納骨堂管理費 計	120
維持管理費 計	970
修繕費	400
火災保険料	70
その他維持管理費	500
事務運営費 計	766
人件費 計(司祭給与を除く)	1,026
指定献金 計	535
(内、一粒会献金)	※400
教区内繰入(分担金) 計	1,125
事業支出他 計	100
器具備品取得支出	100
祭儀備品取得支出	100
(小計)	(5,406)
2022年度収支差額	-109
修繕工事関係、他費用	9,050
合 計	14,347

単位：万円

収 入	予算
献金収入 計	3,575
月定献金	1,800
ミサ献金	1,300
祭儀献金	400
その他	75
墓地納骨堂管理収入 計	850
一般寄付金収入 計	200
指定献金 計	535
(内、一粒会献金)	※400
補助金 計	30
事業収入他 計	100
その他	7
(小計)	(5,297)
積立金、献金、修繕支援金 などから引き当てる。	9,050
合 計	14,347

2022年度 カトリック山手教会・教会委員会 担当委員と各グループ

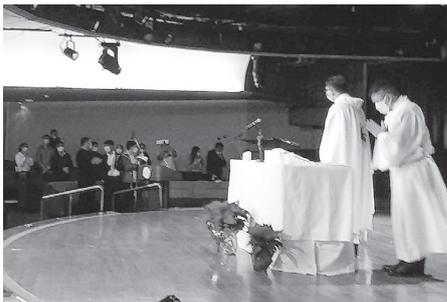


※()は教会委員 (福井真理/横浜みこころ幼稚園)

豪華客船内でのクリスマスミサ奉仕

横浜を母港としている日本最大のクルーズ客船「飛鳥Ⅱ」。クリスマスシーズン中に横浜へ寄港している際には、当教会へ出張ミサ（乗員向け）の依頼が入ります。香部屋担当者によると、これは15年以上前から続いており、当教会の外国籍の司祭が乗船して司式を担当、香部屋係数人も同伴して奉仕しているそうです。

2021年も12月20日（月）16時から船内のホールでダリル・ディニョ師司式によるミサが行われ、船内で働く外国人スタッフ約100人が仕事の合間に参加、そのうち80人ほどが聖体拝領しました。また、ミサ後には司祭の祝福を求めて大勢が品物を持って並んだとのこと。船員の皆さんがこの日を待ちわびていたことが伝わってきたそうです。



ステージ上に設置された祭壇でミサをささげるダリル師と水上助祭



聖水による祝福



一部の方々との記念撮影

（撮影：香部屋係 文：編集部 田中麻子）

福祉支援金配布報告

長引くコロナ禍の中で毎週のミサへの参加も人数制限され、またチャリティバザーも中止になる状況下で、今年は支援金が大幅に減額されるのではないかと心配しておりました。しかし、クリスマス献金なども加えて総額133万円を2022年度の支援金と

して、以下の団体にお届けすることとなりました。

「横浜マック、横浜ダルク、木曜パトロールの会、ラルシュカナの家、寿高齢者ふれあいホーム木楽な家、アルコールケアセンターたんぼぼ、神山復生病院、駿河療養所、女性の家サーラー、インダー、ヌジュミ、ステラマリス横浜、寿支援者交流会、横浜上野町教会フードドライブ、佐々木治夫神父様支援」

今年度クリアファイル販売を通じて山手教会の多くの皆様の支援をいただいた、ブラジルで活躍されている佐々木神父様にも支援金をお届けすることといたしました。

「アルコールケアセンターたんぼぼ」からは、領収書に次のようなメッセージが添えられていました。「山手教会からの献金は、今年度利用者に『詩』をつくってもらって、それを本にしようと考えております。以前、教会で歌わせていただいた事、懐かしいです。」また以前のように、多くの団体の方々を教会にお招きして、交流することができる日を待ち望みたいと思います。

また、横浜上野町教会に支援金をお届けに伺った時には、柴田牧師様から「現在フードドライブは登録制にしているが、母子家庭のお母さんや外国籍の方、そして学生さんも来ています」とのお話がありました。私たちのすぐそばでも、困っておられる方が多くおられるのだということを改めて感じさせられました。

これからも支援を必要としている多くの方々に思いをはせながら、祈りと経済的支援と行動での支援を行っていきたく思います。また、皆様に私たちのそばで困っておられる方々や、その方々を支援している方々のことをお伝えできればと思います。今後も更なるご協力をお願いいたします。

（福祉委員会 委員長 大森秀樹）

聖堂2階に動画配信室完成

2020年に新型コロナウイルス感染症が世界中で爆発的に流行して日本でもはやりだし、山手教会では感染予防対策として聖堂での主日ミサの一般信徒の参加を禁止・人数制限などで対応してきました。

一方、ひとりでも多くの信徒の方々にミサを届けるために動画配信をしています。配信を開始したのは20年4月10日（金）聖金曜日（主の受難）で、聖土曜日（復活徹夜祭）、復活の主日と続き、現在まで全ての主日を動画配信しています。

配信作業は、毎回、機材を地下の教会ホールの倉庫から1階の聖堂に運んで動画配信し、終了すると倉庫に戻していました。そこで、作業負担を軽減するため21年11月21日に機材を聖堂2階へ移動し、22年1月26日にパーティションを設置しました。

動画配信は、今年から教会委員会副委員長に就任した情報システム委員会委員長の宮裕一氏が開始時から現在まで担当されています。

宮氏の献身的な奉仕に感謝いたします。



完成した動画配信室

（編集部 土方芳人）

2022年2月度教会委員会議事要約

日時：2022年2月6日（日）13：00～14：45

場所：教会ホール

議事内容（議事進行：小倉委員長）

1 主な審議確認検討事案 ※順不同

- (1) 福祉委員会から2022年度年間配布金について
- 2022年度の配布金額、配布先について前年度と同様の内容で承認いただきたい。

【決定事項】

- ・承認
- (2) 灰の水曜日のミサについて
- 今年もコロナ禍での灰の水曜日となるがどのような形にするか。今年の灰の水曜日は3月2日。

【決定事項】

- ・灰の水曜日のミサは申し込み制とし、動画配信

を行う方向で検討する。

- (3) ミサ中の携帯電話の緊急速報への対応について
- トンガ沖での海底噴火に伴う津波注意報についてミサ中に緊急速報が鳴動したことについて対応を伺いたい。

【決定事項】

- ・あえて緊急速報を鳴らさないようにしていただくなどの対応はしない。
- (4) 信徒総会資料について
- コロナ禍を踏まえ、昨年と同様に信徒大会は実施せず資料の配布のみとする。

【決定事項】

- ・資料が完成次第、ミサに来た信徒および事務所で配布する。

- (5) コロナ禍でのミサと教会活動について

- 緊急事態宣言が発出されることもなく、現在は現状維持となっているが意見はあるか。
- 一部、密が発生しているケースとマスクの着用状態が不十分であるケースが見受けられる。

【決定事項】

- ・対策の再徹底をしたうえで現状のミサを継続する。

- (6) 教会学校について

- 教会学校は1月30日より再び休校となっている。再開は未定。
- 3月6日（日）に教会ホールで卒業生を送る会、3月13日（日）に聖堂で「子どもとともに、ささげるミサ」の中で卒業式を行う予定となっている。予定どおりで良いか承認いただきたい。

【決定事項】

- ・現時点では予定どおりとする。

- (7) 幼稚園について

- 3月1日（火）に年長クラスの、みことばの祭儀を聖堂で行いたい。その後には卒園式も予定しているのでご了承いただきたい。

【決定事項】

- ・幼稚園の行事については現段階では了承。

- (8) 聖週間の歌について

- 聖週間の歌をどのような形にすべきか。

【決定事項】

- ・状況を見て随時判断するが、基本的に歌は無しの方向で考えている。

- (9) 十字架の道行について

- 今年の十字架の道行はどのようにするか。

【決定事項】

- ・基本的に昨年と同様とする。
- (10) オルガンコンサートについて
- 2月27日（日）に予定されていたオルガンコンサートは5月8日（日）に日程を変更する。
 - チケット購入者には個別に連絡を行い、お知らせにも掲載する。
- (11) 今後の教会活動の方針について
- 今後コロナの問題がなくなった場合にバザーなどの行事を再開するか。

【決定事項】

- ・2022年の開催は無理であるが、2023年に向けての準備は進めても良いと思われる。
 - ・開催できる兆しがあれば可能なことを検討、実施していく。
- (12) 香部屋の蛇口下の排水について
- 香部屋内の蛇口下にある排水は構造が特殊であり、詰まったら修理ができないため原則使用しないでいただきたい。
 - 特に花を一時的にでも置かない。
- (13) トイレ掃除について
- 業者による掃除を行い、その後はボランティアがやりやすいかたちにする。
- (14) 教会内にペットを連れ込む人向けのポスターについて
- 原案を一部修正して掲出する。
- (15) ミサのライブ配信について
- 司祭叙階式を配信する際に祭壇前が映りにくく、カメラの追加をする。

2 今後の活動、報告事項

【第40回横浜教区典礼研修会】

- 毎年2月11日に藤沢教会で行われているが、今年はオンラインで開催することとなった。
- 研修ビデオと分かち合いの二本立てのプログラムで、共同体ごとでの参加となる。山手教会では四旬節以降、連休の頃に開催を考えている。

【水上助祭司祭叙階式】

- 3月21日（月・祝）に正式決定。
- 奉仕などを準備委員会から依頼された人以外は参列不可。
- 2月6日（日）より水上助祭の司祭叙階へ向けた祈りをミサの中でささげる。

- 霊的花束を作ってお渡しすることになっている。

【みこころコーナーより報告】

- 感染状況を鑑み2月の開店は延期。
- 3月からの開店は検討のうえお知らせする。

【典礼委員会より報告】

- 2月27日（日）に灰の水曜日に使用する灰を作る予定。

【ロザリオ会より報告】

- ロザリオ会主催ミサを3月4日に実施予定。

【ヨゼフ会、ロザリオ会より報告】

- 水上助祭の司祭叙階お祝いをヨゼフ会、ロザリオ会よりさせていただく。

【インターナショナルミサの言語について】

- インターナショナルミサでは、現在は共同祈願がさまざまな言語で行われているが、2月27日（日）より最初の朗読を毎月異なる言語で行う。
- 第4土曜日は子どものミサとする。

【福祉委員会より報告】

- 横浜上野町教会と意見交換を行った。コロナ禍で大変苦しんでいるシングルマザーなどへの支援を登録制フードバンクとして行っているということであった。山手教会でも教会周辺の困っている方に向けて何かできるよう検討する。
- 教会に来られた観光客の方などにカードをお渡しして、案内係から一声かけることでもその意義は大きいものと考えられる。

3 主任司祭から

- 2月10日（木）と23日（水）に司祭を対象とした新しいミサの研修会が開催される。そのうち23日は山手教会聖堂で行われる。
- 3月6日（日）に予定していた合同入信志願式は中止。
- 山手教会として3月5日（土）17時のミサ中に入信志願式を行う。
- 横浜シティガイド協会から聖堂の写真を使わせて欲しいという依頼があった。

4 次回教会委員会

3月6日（日）13時00分～15時00分終了予定。

（総務担当 齋藤悠美子）

2022年3月・4月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主 日	聖 歌 (歌わずに章句を唱えます)			聖歌隊	時 間	奉 仕 者				ミサ参加 割当
		答唱詩編	アレルヤ唱 詠唱	感謝の讃歌			オルガン	先 唱	聖書朗読		
3月2日	灰の水曜日	典6①②	典261③	典205		11:30	米 沢	曾 禰	時 久	大 島	抽 選
6日	四旬節第一主日	典129 ①②③	典260 第一主日	典205		前日pm5:00	村 松	竹之内	新井田	島 田	夜ミサB
						7:30	太 田	石 賀	古谷(信)	石 川	朝ミサB
					*	11:30	手 塚	山本(紀)	鈴木(理)	大 澤	昼ミサB
13日	四旬節第二主日	典73 ①②③	典260 第二主日	典205		前日pm5:00	藤 沼	斎 藤	鈴木(明)	福田(直)	夜ミサA
						7:30	中 川	二 宮	東海林(珠)	時 久	朝ミサA
					*	11:30	佐 藤	遠 藤	石田(明)	中 野	昼ミサA
20日	四旬節第三主日	典93 ①②③	典260 第三主日C	典205		前日pm5:00	太 田	山本(康)	工藤(元)	志 村	夜ミサB
						7:30	渡 邊	末 澤	石川(喜)	中村(桂)	朝ミサB
					*	11:30	中 川	村田(義)	中川(由)	岩 隈	昼ミサB
27日	四旬節第四主日	典128 ①②③	典260 第四主日C	典205		前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿 部	夜ミサA
						7:30	手 塚	亀 井	古谷(浩)	藤 本	朝ミサA
					*	11:30	太 田	藤原(ま)	川 田	鈴木(理)	昼ミサA
4月3日	四旬節第五主日	典154 ①②③	典262 第五主日C	典205		前日pm5:00	藤 沼	竹之内	新井田	島 田	夜ミサB
						7:30	手 塚	石 賀	古谷(信)	石 川	朝ミサB
					*	11:30	米 沢	山本(紀)	鈴木(理)	大 澤	昼ミサB
10日	受難の主日 (枝の主日)	典176 ①②③④	典317	典205		前日pm5:00	村 松	斎 藤	別途選定	別途選定	夜ミサA
						7:30	中 川	二 宮	別途選定	別途選定	朝ミサA
					*	11:30	佐 藤	遠 藤	別途選定	別途選定	昼ミサA
14日	聖木曜日 (主の晩さん)	典97 ①②③	典262	典205		pm7:00	太 田	末 澤	別途選定	別途選定	別途選定
15日	聖金曜日 (主の受難)	典145 ①②③④	典317	なし		pm7:00	手 塚	村田(義)	別途選定	別途選定	別途選定
16日	聖土曜日 (復活徹夜祭)	典79 ①②③等	典12 ①②③	典205	*	pm7:00	米 沢	田中(麻)	別途選定	別途選定	別途選定
17日	復活の主日	典87 ①②③	典351(続唱)典 266または 264(主の復活)	典205		7:30	渡 邊	末 澤	別途選定	別途選定	別途選定
					*	11:30	中 川	藤原(ま)	別途選定	別途選定	別途選定
24日	復活節第二主日 (神のいつくしみの日)	典87 ①②③	典351(続唱) 典264 第二主日	典205		前日pm5:00	忠 海	田中(麻)	羽 石	阿 部	夜ミサB
						7:30	太 田	亀 井	古谷(浩)	藤 本	朝ミサB
					*	11:30	手 塚	藤原(ま)	川 田	鈴木(理)	昼ミサB

(注) ・コロナ禍による緊急事態宣言の再発出により、一般信徒不参加のミサに変更となる際には、別途「教会からのお知らせ」に従ってください。

なお、ミサ中の聖歌(上記)は、しばらく歌いませので応唱句などは皆さん静かに唱えてください。

・「子どもとともに、ささげるミサ」は当分ありません。

編 集 後 記

以前に教会事務所の職員の方から「長野県の信徒の方に『やまて』を差し上げてよろしいですか」と小生に電話がありました。詳しく伺うと「巡礼で山手教会を訪れたときに、聖堂に置かれていた『やまて』を読んで感動したので、最近1年間分のコピーと今後、発行されるものについても毎月着払いで送ってほしいと言われた」とのことでした。郵送作業は教会事務所が行うとのことでしたので了解しました。うれしい出来事です。
(土方芳人)

☆表紙のカット(山手教会)は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。